

令和元年6月定例会 産業労働企業委員会の概要

日時 令和 元年 7月 1日(月) 開会 午前10時 2分
閉会 午前11時18分

場所 第5委員会室

出席委員 内沼博史委員長
吉良英敏副委員長
千葉達也委員、武内政文委員、木下高志委員、小林哲也委員、
平松大佑委員、町田皇介委員、井上将勝委員、石渡豊委員、前原かづえ委員

欠席委員 並木正年委員

説明者 [産業労働部関係]
加藤和男産業労働部長、新里英男産業労働部副部長、
勝村直久産業労働部雇用労働局長、野尻一敏産業労働政策課長、
碓井誠一産業・サービス産業支援課長、藤田努産業支援課長、
高橋利男参事兼先端産業課長、堀口幸生企業立地課長、斉藤豊次世代産業幹、
大森明紀金融課長、島田邦弘観光課長、田中健雇用労働課長、
堀光美知子シニア活躍推進課長、山野隆子ウーマノミクス課長、
田口修産業人材育成課長

奥山秀労働委員会事務局長、
吉田雄一労働委員会事務局副事務局長兼審査調整課長

[企業局関係]
立川吉朗公営企業管理者、濱川敦企業局長、菊地仁美管理部長、
中島俊明水道部長、竹中健司総務課長、松塚研一財務課長、
松山謙一地域整備課長、大嶋靖之水道企画課長、清水隆水道管理課長、
鈴木喜弘主席工事検査員

会議に付した事件並びに審査結果

- 1 議案
なし
- 2 請願
なし

所管事務調査(産業労働部関係)

「ジェットロを活用した海外展開支援」について

報告事項

1 産業労働部関係

- (1) 指定管理者に係る平成 3 0 年度事業報告書及び令和元年度事業計画書について
- (2) 令和元年度における指定管理者の選定について

2 企業局関係

- 包括的民間委託に係る平成 3 0 年度事業実績及び令和元年度事業計画について

【所管事務に関する質問「ジェットロを活用した海外展開支援」について】

千葉委員

委員長、この際、所管事務調査を希望する。先月、6月10日に設置決定の通知があり、「ジェットロ埼玉貿易情報センター」が11月に設置されることとなった。今後、県内企業の海外展開に一層の弾みがつくことが期待される。そこで「ジェットロを活用した海外展開支援」について、質問したいが、よろしいか。

委員長

それでは、「ジェットロを活用した海外展開支援」についての質問を認める。

千葉委員

- 1 地元で商工会の役員をしているが、工業部会の会員企業が、公益財団法人埼玉県産業振興公社の指導の下、平成24年にひたちなか商工会議青年部会と上海に、平成25年には羽生市や寄居町の企業とタイにそれぞれ販路拡大を目的に活動した際、ジェットロやサポートデスクに立ち寄り、勉強させていただいたと聞いている。今後、海外進出等の活動をするに当たり、ジェットロ埼玉を活用することで、手続きが簡略化することができるか否か、サポートデスクとの連携も含めて伺いたい。
- 2 今回、ジェットロ埼玉設置による効果と海外進出支援等の具体的な数値目標があれば、努力目標などでもよいので伺いたい。

企業立地課長

- 1 ジェットロは海外進出の手続きそのものを所管しているわけではないので簡素化は難しいが、不慣れな中堅・中小企業に対し、海外進出の手続きをスムーズに進めるための様々な支援を行っている。貿易投資相談では実務経験豊富なアドバイザーがマンツーマンで対応し、オンラインで貿易実務が学べる講座もある。こうした豊富なメニューがジェットロの強みである。海外のジェットロ事務所とサポートデスクの業務の詳細は現時点では把握していないが、ジェットロ埼玉開設後は海外事務所の情報がより多く入ってくるので、ジェットロと業務が重なる部分があれば一本化するなどの整理を検討したい。
- 2 数値目標については、最終的な成果である輸出額のようなアウトカム指標が望ましいが、貿易関係は都道府県単位の公的統計がなく、輸出額の把握は難しい。このため他県のジェットロでは、相談件数や支援件数などのアウトプットベースで把握しているものが多い。今後ジェットロと意見交換し、どんな目標が適当なのか整理していく。

千葉委員

- 1 中国やタイに行った際には、不慣れであった商工会等の会員に対し、現地のジェットロにおいて勉強会を開催していただいた。ジェットロ埼玉ができることによって、現地に行く前に不慣れな部分について教えてもらうことは可能か。
- 2 商工業の販路拡大は指標の設定が難しいのは理解しているが、1件でも年々増加してほしいと考えるがどうか。

企業立地課長

- 1 海外や都内に行かなくても現地と同じ情報や支援を受けられるのがジェット口埼玉設置の最大のメリットである。こうしたメリットを最大限生かしていきたい。
- 2 どのような指標であれば状況を把握できるのかよく研究し、毎年少しずつでも数値が伸びるよう努力したい。

武内委員

- 1 これまでもジェット口は都内にあり利用されてきたが、ジェット口埼玉設置の何がメリットであるか。何が期待されるか伺いたい。
- 2 今年度、ジェット口埼玉の設置に予算が1,600万円計上されている。今後は、委託費は別としてゼロになるのか。

企業立地課長

- 1 まずはアクセスが良くなることである。今までは県南からは近かったが、熊谷等からは1時間半以上かかった。大宮に開設することで県内のどこからでもアクセスしやすくなる。また、体制も充実する。これまで都内のジェット口では埼玉の担当は1名であったが、ジェット口埼玉は9名体制となりスタッフの厚みも増す。
- 2 ジェット口の経費は全国共通のルールがあり、運営経費を地元自治体と折半することになっている。今年度の予算は年度途中でジェット口が設置されるので、1,600万円だが、来年度以降は1年分と長くなるため、予算は増える見込みである。

木下委員

数値目標の設定について、確かに単体で県内経済への効果を把握するのは難しいと考える。「埼玉県5か年計画」の施策「就業支援と雇用環境の改善」では施策指標に「県内大学新規卒業者に占める不安定雇用者の割合」を利用したような、何らかの考えはあるか。

企業立地課長

貿易に関する都道府県単位の公的な統計はないが、例えば海外進出企業数などの民間調査はある。ただし、民間の調査結果をそのまま県の目標としてよいかは議論がある。例えばジェット口の立ち上がり後、数年は事業が円滑に軌道に乗るようアウトプットベースの数値で成果をチェックし、その後、アウトカムベースの数値で県経済へのインパクトを測定するという、段階に応じた目標設定の方法も考えられる。

小林委員

自民党の議員からも一般質問を通じて海外サポートデスクの充実等の要請があったが、埼玉県にジェット口が設置され、海外進出に当たり、ジェット口頼みになってしまわないのか、いざ海外に行ったとき、話が違うとならないよう海外サポートデスクも充実が図られていく必要があると考えるが、何か検討はしていくのか。

企業立地課長

委員指摘のとおり、全てジェット口頼みというわけにはいかない。ジェット口の海外事務所は全国の企業をフォローしているので、47分の1の存在になってしまう。海外サポートデスクは埼玉県専用であるが、ジェット口の設置後も今のままでよいのか検討する必要がある

る。大事なのは役割分担である。海外サポートデスクがジェットロにつなぐ支援パターンが予想されるが、本当に円滑に連携できるのか、支障はないか、現地を確認し精査したい。